

石神中学校だより 6号

発行日：令和4年 7月5日

2022重点目標「自ら学び、共に高め合いながら夢の実現のために努力する生徒」文責：校長 佐藤恭司

新体力テストが行われました

6月17日（金）全校生徒による新体力テストが行われました。

＜新体力テスト実施の目的＞

- ① 自己の体力や運動能力の現状を知る。
- ② 不足している体力を高め、スポーツに親しみ、健康に自信を持って生活できるようにさせる。

実施した種目は次の通りです。①握力、②上体起こし、③長座体前屈、④反復横跳び、⑤立ち幅跳び、⑥50m走、⑦ハンドボール投げ、授業の中で実施する種目（⑧持久走）今回は、熱中症対策、コロナ感染対策として、衣服の調節や水分補給、競技中のマスク外し、そして、3密防止、空気の流れを作り人との間隔を取りながら実施しました。全校生徒が一同に取り組める校内行事の一つです。笑顔あふれる表情と真剣に取り組む姿が印象に残る一日となりました。



高校説明会の開催

6月21日、県立高校の説明会を開催しました。相双地区6校の高校から、教育目標や教育内容、校内行事、部活動の取組、進路・就職先など、限られた時間の中で、丁寧に説明をいただきました。今回の高校説明会を受けて、自分が行きたい高校や学びたい学校、学科など、多くの選択肢を増やすことが出来たようです。7月後半から各高校の体験入学も始まります。



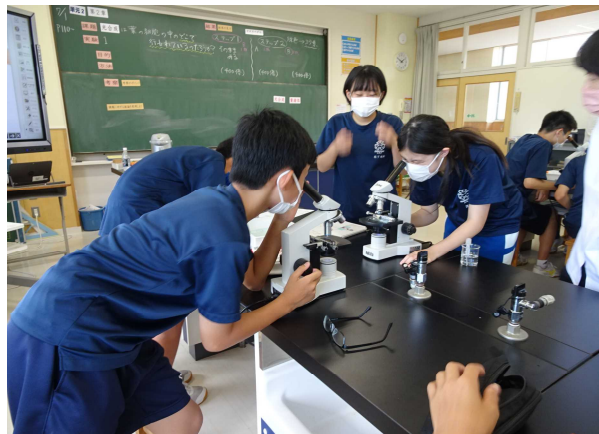
防犯教室の開催

6月24日、南相馬警察署生活安全課、県外からの応援ウルトラ警察隊、少年補導員の皆さん方の協力を得て、防犯教室を実施しました。生徒らが学ぶ学校施設内に不審者が侵入することは絶対にあってはなりません。万が一、不審者が侵入した場合などの緊急事態に備えて、迅速に通報や緊急連絡、命を守る避難訓練を実施しておくことはきわめて重要です。



石神ブロック授業研究会を行いました!

7月1日、石神中学校を会場に、石神一小、二小の先生方が集まり授業研究会を行いました。研修会を通してよりよい授業のあり方や地区の学習課題、小中の学習の連携などを深めるのをねらいとしています。授業参観後の各分科会では、多くの意見が交わされました。石神地区の子どもたちの学力向上と教員一人一人の指導力向上につなげるためにも、今後も情報交換と継続した研究会を計画していきたいと思ひます。 写真左：授業参観の様子 写真右：分科会の様子



～ねがい～ **修学旅行あれこれ①** 昨年と一昨年の修学旅行は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、東京方面から富士山河口湖周辺へ変更して実施いたしました。生徒らの中学校生活の一番の思い出は、修学旅行です。富士山や富士急ハイランド、河口湖周辺での体験学習など、楽しかった話を聞くと実施して良かったと感じるところです。修学旅行の計画は、生徒が一年生時から始まります。生徒や保護者から行き先希望アンケートを取り、計画・見積もりなどから業者選定が行われます。担当学年は、旅行業者と複数回の打ち合わせを行い、安心安全な旅行にできるように進めていきます。今年度、3年ぶりに東京・横浜方面への修学旅行を計画しています。修学旅行情報は、今後の「修学旅行あれこれ」の中で紹介をしていきたいと思ひます。

更生保護女性会挨拶運動再開

コロナ禍前までは、毎月20日は地区の更生保護女性会の方々によるあいさつ運動が行われていました。6月20日に更生保護女性会の市川和子さんと荒木英子さんが来校し、元気な声かけ・あいさつ運動が行われました。先週から、PTAによる「み隊・しり隊・かえ隊」が始まり、さらに地区の更生保護女性会の皆さん方のご協力に、改めて地域に支えられている喜びを実感しております。 生徒会執行部とあいさつ運動



～こころ～ **まな とき これ なら よろこ 学んで時に之を習う、説ばしからずや**

『論語』の孔子の言葉です。「勉強を教わって、それを何度も繰り返して復習したり、練習したりすると、出来なかったことができるようになる、なんと喜ばしいことではないか」という意味です。期末テストや実力テストが終わると、ついでが抜けてしまうものです。テスト用紙の返却後、出来なかったことを知ることが、次の学びの成果に繋がります。

